

死致者訓書

所屬部隊

第三海軍航空隊

役種

現 兵 裡 水 兵 科

官等級

海軍一等兵曹長

戰地到着年月日

不詳

本籍地

不詳

勤務概要

不詳

卒病年月日

昭和十一年三月二日

病名

肺炎(胸膜炎)

死亡時状況

五三整備隊員三三三、沿海洲四三收容所迄同行シ
在一年三月二年肺炎ニシテ第一病院ニ入院病院ニ設
備不完全爲リ増ニ病体ニ悪化シ遂ニ昭和十一年三
月二十日午前(時刻不詳)死亡シ死体は同日リ聯軍

北亡年月日

年以依り理葬下、遺骨遺留同、持帰下

場所

昭和三十二年三月二十日
沿海洲四三牧家所第一病院

右申告す

昭和三十二年九月十九日

本籍地

[Redacted]

帰郷先右に同じ

所属部隊第五海軍整備隊

二等兵曹

[Redacted]

[Redacted]



舞復連等二號の五七

昭和二十一年四月十五日

舞鶴上陸地連絡所長

各復職務處理部復員業務課長殿

死没者に關する件 通知（第 號）

左記はデボトカより舞鶴に返還した各頭書の省の申告によるものである

智

遺骨發還者

[illegible]

吳地方復興殘廢處理部



部隊

等奴

氏
年
月
日

入籍番

留本

和當者現住

卷之六

14

32

100



1

學堂國高亭

正月四日
記

事

歷

待入國

織工圖

吳旄

100

外務部

上 叔 吳	上 叔 吳
-------------	-------------

復

發
也

兄弟

三四投

家藏殘本

○

狀元
光緒
己卯
○
21

×	3.14	×
×	×	×

2-1
78

78

一平ノミヨ月曜ト申告シ大不調報付申度
の御事あるをかう訂正す
平ノミヨ月曜ト一分所 満室ノ満様や下所
東長太綱の巻紙とシ大

(刊)

五五五五五

53-10

第 組

生存者 確 報 告

報告者ノ當時ノ所屬 (部隊名) 九二龍至隊

報告者ノ官職氏名 (階級) 整備部長

報告者ノ本籍地及び現住所

所屬官職氏 氏 姓 氏 姓 出 身 地

能登上水

[Redacted]

生存者ハ 戦死ハ分 別月日 場所 状況 報告者ノ署名

死没状況

平一ノ三ノ年九月七日ナリカ 命工日 亡ニシテ 下ノ下ノ 食飲減退 下ノ下ノ 亡ニシテ 報告者ノ署名

二ノ年八月十一日 通 告

247-11

一字訂正

昭和貳拾貳年貳月拾八日
戦死認定相成及件願

陸軍上等兵

小生儀昭和貳拾一年十二月五日佐世保港
上陸テシベリヤ地ニテ帰還致シ今般道
家族慰問ノ結果左記ノ者戦死公報無之
タメ種々困惑致居候存何卒特別ノ御
詮議ヲ以テ死亡認定ノ御手續御願致度

託

原籍

留學担当者

全所

現所屬

ウ方九

隊

隊

昭和武松志

海軍

上等兵

收容所

昭和武松志等参月貳拾九日ハバ口フク收容所

於戰病死

由原突起炎平御後腹膜炎併發

右現認者

千々八ル一五二三五部隊

一字訂正

陸軍上等兵

遺骨及遺留品現所屬部隊人事係へ交附セリ

本籍地

死役者語言

遺族住所及趣向

所屬部隊

元山航空隊

役種

飛行兵

兵種

整備科

官等級

一等整備

兵

整備科

不明

戰死年月日

昭和十九年九月

勤務概要

飛行機整備

受傷年月日

昭和二十一年三月

受傷部(病名)

米袋袋失調

受傷原因

米袋袋失調

死時、状況
遺言
記事

病死

昭和二十一年三月三十日一六〇。

ワラジオ ホセット

遺言なし

右 申 告 ス

昭和二十一年十一月九日

由本籍地
若 既 郷 宛
若 所 属 部 隊
氏 名

元山海軍航空隊

官 等 級 上 整 備 兵 庫

入 籍 番 号

終



區劃 分查	全國 名額	吳領 名額
殘	178	37

未處理者消息究明補書

部隊	354設
----	------

上校

氏 生年 月 日 名

入籍 年月 日

地方役員及務處理部 留于担 言者現住所

履歷

學歷	特校	入國前	特種	其他	家族
國高卒	土木業				妻 子 女

年月日	2.3.1	2.3.2	2.6.1	2.7.1
記	吳因入國	吳施	一校失	上校失
事				三五四破

刊

舞後復二第七号ノ二六領主様

昭和三年一月三十日

舞鶴司務援護局復興部第ニ復興課長

依世係地方復興課第ニ復興課長殿

依賀縣民生部世話課第ニ復興課長殿

死歿者に用する件通知(第ニ七号)

左記は「ナホトカ」より舞鶴に搬運した頭書の者、申告に依

申告者 等復 氏 名 飯 郎 一 先

撫 燃 五 七

所 籍 氏 名 死 亡 病 名 死 亡 死 亡 本 籍 地

撫 燃 三 氏 名 死 亡 病 名 死 亡 死 亡 本 籍 地

註(昭和三年)月撫燃榮昭和三年十月廿四日地色カラスン着此の間、

列車輸送途中、発病寸、カラスン収容所入所と同時に入宜治療

25-26

82-63

十一月十四日午後二時、月二日頃退室するも又、壬午（月）中旬頃二日、月
入室治療中、其後新設病院に転院入院後一週間位で死
亡した由を報告した機、燃在隊署時より同班員の中を報告した班長代理
の職にある者が入った後、常は一輔で発病後、死亡に至る迄責
任を以て看護に盡す、死亡は確認し、死体は自らの埋葬
遺品は枝太尉 [] 加保等 [] したうがある。
此處事は申告者以外に既般還の、工古故 [] 人事
係（此の功朝月死）般即先 []
枝太尉 [] 當時の隊長（此の功朝月死）般即先
の兩人も死亡を良く知って
居るもの事がある。

（寫送附先）

第一復員局残勢處理部復員業務課長

（總）

未處理者消息究明調書

吳地方復興殘務處理部

調査區分	全圖名簿頁	吳地名簿頁	簿頁
殘	176	37	
部隊	空山元	整長	
等級			
氏名			
入籍			
本籍			
留守担当者			
現住所			

右同

履歷

學歷 國高卒

年月日

記

事

吳國入部
大村空元山分
上山整
元山空
整長

家族

其他	妻	子	女

臺灣郵政

書 畫

形 狀 可 變

頭號書目 （一）換出書		原書又作 （二）換出書		原書又作 （三）換出書		原書又作 （四）換出書		原書又作 （五）換出書		原書又作 （六）換出書		原書又作 （七）換出書		原書又作 （八）換出書		原書又作 （九）換出書		原書又作 （十）換出書	
原書又作 （十一）換出書		原書又作 （十二）換出書		原書又作 （十三）換出書		原書又作 （十四）換出書		原書又作 （十五）換出書		原書又作 （十六）換出書		原書又作 （十七）換出書		原書又作 （十八）換出書		原書又作 （十九）換出書		原書又作 （二十）換出書	

總發行所

26-3-23 = 續業第2種六

姓

129

死 亡 現 認 (確) 証 明 書

裏面記載上の注意を見て書き下されい。※及び裏面の各欄は記載に及びません。父書き方がわからない点がありましたら遠慮なく調査官に問うて下さい。

資 料 提 供 者		死 亡 者 の 資 料					死 亡 現 認 者		所 属 部 隊		地 区 局 面		役 職 兵 種		年 月 日 生		
法方たつ知を亡死	証留品の理の	遺骨及び遺物の処理	死亡区分	発病時	傷病名	死亡場所	死亡日時	区分	現住場所	本籍地	所 属 部 隊	地 区 局 面	役 職 兵 種	年 月 日 生	年 月 日 生	年 月 日 生	
自らの死を現認し左	分	今所東北東北に埋葬	戦死	略死	栄養失調症	不衛生な所	昭和26年10月	内	東京都府	東京都府	三木四改	※分所	兵種 兵隊	昭和26年	昭和26年	昭和26年	
係関のと者亡死	同		※甲	※乙	※甲	※甲	※甲	容									
隊部局所所住現	三木四改							死亡当時の状況及び参考資料	守衛者								
名氏級階								本名は入所後三木四改に改称し、今所自合連上、略は炭坑作業に従事して、昭和26年10月、栄養失調症に罹り、今所内病室に入室され、その病勢日増に悪化し、昭和26年10月病室に於て死亡し、尚本所の職員及び看護婦等は対処し、本所の調査員は									

4160

8-17

一、本証明書は、未帰還者の死亡の処理を行う場合の基本となる證據書類であり、また特に正確に書いて下さい。従つて、記憶が不確実なる箇所には、をのけてその旨を明かにして下さい。

二、死亡を知つた方法の欄には、自から現認した（見た）死水をとつた、屍衛兵に立つた、慰靈祭又は葬儀に立会つた、噂々から聞いた、死亡したことを命令等で見た等死亡事実を知つた方法を具体的に書いて下さい。

三、死亡當時の、状況はなるべく詳細に記入して下さい。又資料資料として「貴方の外に本人の死亡事実を知つてゐる人があればその人の氏名、所属部隊、本籍地等」「死亡者の特徴（容貌、体格、特徴、前職等）」「死亡者が軍属の場合は、その官等俸給（月給）、採用年月日等」その他死亡者について御存知になつてゐることは附記して下さい。

四、資料提供者の記入欄中記入の出来なかつた事項を、調査官が前正又は補備した場合、「」を附して記入し、資料提供者の記入したものと明瞭にすること。

四、資料提供者の記入欄中記入の出来なかつた事項も、調査官が附正又は補備した場合「」を附して記入し、資料提供者の記入したものと明瞭にすること。

4161

卒	籍地	現任所	本籍地二同じ
所屬部	海軍第三五四設営隊	入隊年月	昭和二十一年三月一日
官階	海軍少尉	氏名	氏名
内地補出年月日	昭和二十一年六月十八日	生年月日	昭和二十一年六月十八日
外地到着年月日	六月二十三日	入籍	入籍
勤務ノ概要	一 昭和二十一年五月日 吳淞兵團第三五四設営隊 一 昭和二十一年八月三日 大元山ノ軍ニ收容サル 一 昭和二十一年四月 一 聯沿湧州スノヤニ市ニ於 于死歿ス	急性肺炎	急性肺炎
發病(受傷)年月日	昭和二十一年三月中旬	病名(受傷部位)	急性肺炎
發病(受傷)一覽(一又)	果部ノ下及ノ氣管ト創レ又ノ食管ニ及ル		

4162

112